

「大変」でも復興順調



スーダンで難民支援
今井さん札幌で講演

アフリカのスーダンで、日本国際ボランティアセンター(JVC)の現地代表として難民支援を続ける今井高樹さん(四六)が「北大出身」が十三日夜、「内戦終結後の南部スーダン 自立へ向けた歩み」と題して、札幌市の道立市民活動促進センターで講演した。(小坂洋右)

車両整備士養成に手応え

け負い、新たな整備士の養成にも取り組んでいる。現地スタッフはスーダン人を中心に約二十人、研修生もほぼ同数抱える。

今井さんはスライドを

JVCとさっぽろ自由学校「遊」の共催で、約二十人が参加した。同国では、死者二百万人、難民五十万人、国内避難民四百万人を出した内戦が二〇〇五年に終結。今井さんは〇七年五月、南部のジュバに赴任し、帰国がなかった元難民らを雇って、月八十台前後の車両整備を国連機関から請

内戦の後遺症が残るスーダンから一時帰国し、NGOが復興に果たす役割などを伝える今井さん

「研修生の中には、子供時代に誘拐されて少年兵として連れ回された過去を持つ若者もいた。一年半ほどの研修でかなりのところまで習得し、来年、現地スタッフに移管できそうなどころまできた」と活動の順調さを伝えた。